

(写)

令和6年5月31日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役副社長 宇野 護 様

静岡県中央新幹線対策本部長
静岡県副知事 森 貴志

岐阜県内で発生した井戸等の水位低下の事象を踏まえた
高速長尺先進ボーリングの対応等について

5月13日に開催された第16回地質構造・水資源専門部会において、山梨県内から県境に向けた高速長尺先進ボーリングについては、貴社が提示した湧水管理やモニタリングが確実に行われることで、一定のリスク管理がなされることが確認されました。

しかし、今般、リニア中央新幹線トンネル工事が進む岐阜県瑞浪市大湫町において、井戸等の水位低下の事象が発生し、トンネル工事を中断する事態となっております。

また、報道によれば、貴社は、2月下旬に観測井戸の水位低下を確認していたにもかかわらず、岐阜県への報告は5月になってからとのこととあります。

このため、県としましては、流域市町や利水者からなる大井川利水関係協議会にこうした状況をしっかりと説明し、地域の不安を解消する必要があると考えています。加えて、岐阜県の事象を踏まえ、技術的観点からは、これまで専門部会において貴社から提示されたリスク管理の有効性を再確認し、必要に応じて追加の措置を検討していただく必要があると考えております。

つきましては、以下の点について、文書でお示しいただくようお願いいたします。

記

- 1 岐阜県の事象の詳細とその対応状況
- 2 岐阜県の事象を踏まえた今後の高速長尺先進ボーリングに関する対応（湧水量等の本県への報告頻度、現在提案されている管理値等の技術的有効性及び追加措置の必要性等）